

	<h1>現代文 B</h1>	
--	----------------	--

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
国語	現代文 B	3	3年 G 一貫文系	精選現代文 B (東京書籍)	『新版四訂 新訂総合国語便覧』(第一学習社) ※三年間継続使用 『入試漢字マスター1800+四訂版』(河合出版) ※三年間継続使用

学習目標	言語に関する知識を深めつつ、文章の構成や対比構造、論理の展開や表現に注目し、主題や要旨を的確に捉える。さらに、背景にある社会的・歴史的な影響等をさまざまな角度から読み取り、自らの考えを深める。
学習の進め方	教科書を丁寧に読み解き、読解力を深める。入試問題演習を適宜行う。
評価対象・方法	授業の取り組み、定期テスト、小テスト、提出物を評価対象とし、総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	大学入試を念頭に置き、実力の向上を目指す。一・二年次に学習した読解の基礎を土台にして、知識と読解力を確かなものにしていく。積極的な参加と主体的な学習を期待している。

	学習事項	学習内容	備考
一 学 期	評論 『言語と記号』 小説 『檸檬』	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を基に抽象的な問題へと発展する言語論の文章を、構成・展開を意識しながら的確に読み取る。 ・作品内で描かれる青年期の不安と美への衝動を、言語表現に注目しながら読み解く。 	第1回スタサポ(4月)
	中間試験		
	評論 『平気——正岡子規』 随想 『クレールという女』	<ul style="list-style-type: none"> ・正岡子規の人生とその作品についての理解を深めつつ、筆者の提示する「平気」の意味を理解する。 ・過去から現在への時間経過とともに変化していく筆者の心境を正確に把握しながら、文章全体を通して語られる筆者の人生観を読み解く。 	第1回進研模試(6月)
	期末試験		
二 学 期	大学入試問題演習 日本近現代文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験・大学入試の過去問や類題の演習を行う。 ・『国語便覧』等を用いて、日本近現代文学史の基礎知識を身につける。 	
	中間試験		
	小説 『舞姫』 大学入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・センター試験・大学入試の過去問や類題の演習を行う。 	
	期末試験		